

2018 年 1 月 23 日の草津白根山噴火の推定火口位置

2018 年 1 月 23 日の草津白根山（本白根山）噴火の火口位置を報道映像で推定した。火口は鏡池から北に約 500m 離れた鏡池北東の鏡池北火砕丘（高橋ほか、2010）で発生し、山頂部（山頂部火口）とその西側山腹（西側火口）の 2 箇所に分れて火口が開いたと考えられる。山頂部火口はほぼ東西に延びる火口列を形成している。噴火はまず山頂部火口で始まり、西から東へ短時間で拡大した。その後西側火口が開いたと推定される。

草津白根山（本白根山）1 月 23 日噴火の報道機関による映像、写真から、火口位置を推定した。使用した映像は

1. ロープウェイゴンドラ搭乗中に BS フジテレビクルーが撮影した噴火ビデオ映像
2. スキー客が本白根コマクサリフト小屋付近で撮影したビデオ映像
3. スキー客が本白根コマクサリフト上から撮影したビデオ映像
4. フジテレビが 1/23 昼ごろに南東上空から撮影した空撮ビデオ映像
5. 朝日新聞「噴火口、ロープウェイの数百 m 先 専門家が映像を分析」(1/25)の記事写真

<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20180124005060.html>

である。

ビデオ映像は

<http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/CONN00382746.html>

で一部を確認できる。(1 月 25 日 13 時現在)

鏡池北火砕丘山頂部火口

1 の映像は鏡池北火砕丘山頂部火口の噴火開始直後の様子が捉えられている。

噴火はすでに鏡池北火砕丘火口内で発生しており、さらに画面右（北西）側から垂直に噴煙が垂直に立ち上がる。数秒以内に画面左（南東）側に噴煙上昇位置が移動するように見え、最後に鏡池北火砕丘火口東縁付近に新火口が開く。この新火口は 4 映像で白色噴煙を上げる火口として確認できる（図 1 の赤丸）。同映像には鏡池北火砕丘火口内にも新火口と小さな火砕丘地形が認められ、5 の写真でほぼ東西に並んだ火口列が確認できる。

鏡池北火砕丘西側火口

2 と 3 の映像には、東西 2 本の噴煙が上がっている様子が捉えられている。特にリフト上からの映像は西側火口開口直後の映像と思われ、東側の山頂部火口が先に開口していたことがわかる。噴煙とリフト小屋との位置関係から、西側火口の位置は鏡池北火砕丘西麓付近と考えられる。

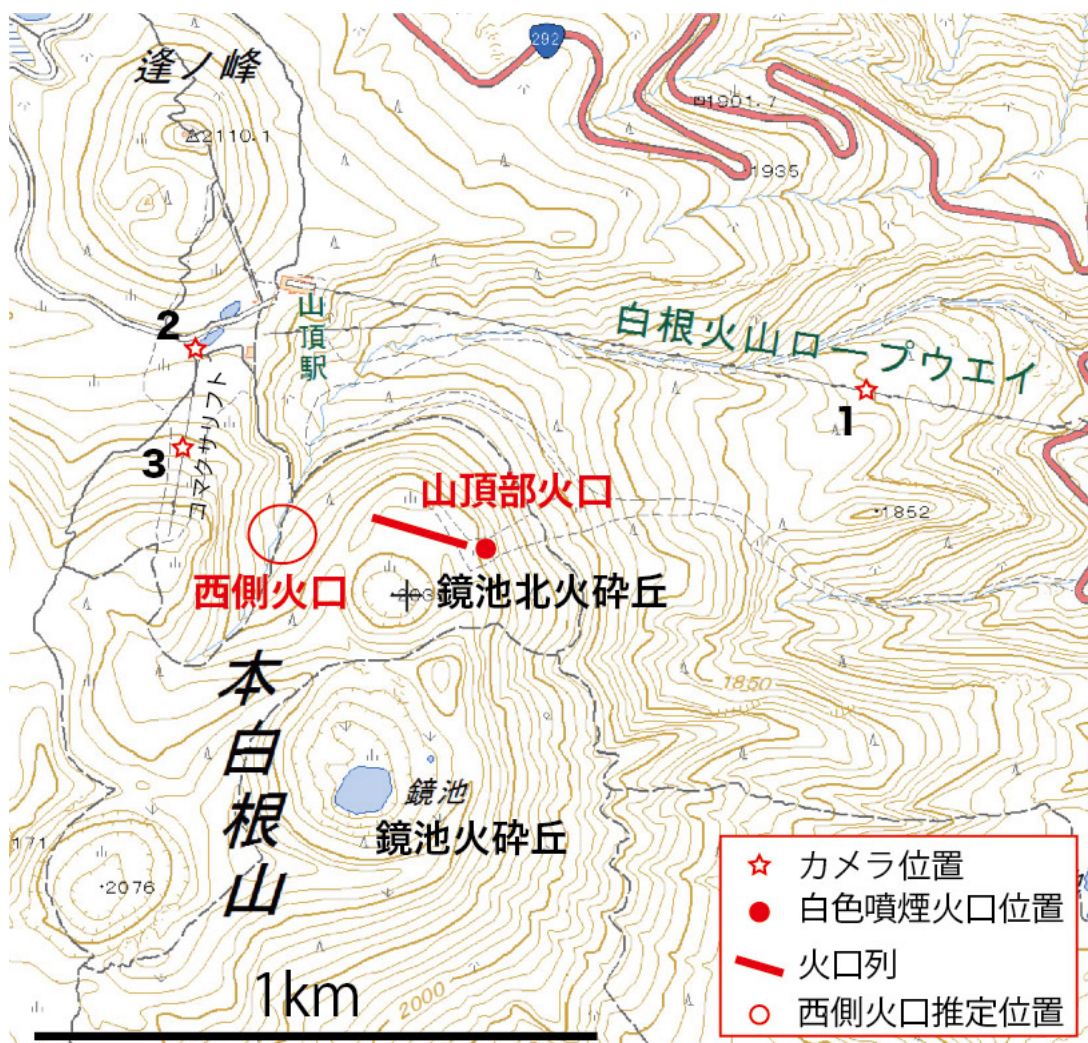


図 1. 2018 年 1 月 23 日の草津白根山（本白根山）噴火推定火口位置

赤星：ビデオ映像撮影位置 赤丸：白色噴煙を上げる火口位置

赤線：鏡池北火砕丘山頂火口内新火口列

赤楕円：西側火口推定位置

引用文献

高橋正樹，河又久雄，安井真也，金丸龍夫（2010）草津白根火山噴出物の全岩主化学組成一分析データ 306 個の総括，日大紀要，45，205-254.